



【 視察 ① 】



突然の訪問を快く受け入れてくれた床屋さん。仕事柄アスファルトの駐車場を囲む様にコンクリート製の深さ30cm程のプランター菜園が在る。この数年秋になると木で枠を作って長ネギを栽培しているのが見えた。3年間、ネギを連作したので今年は、ニンジン栽培したそうです。

他に、キャベツ・ナス・インゲンマメ・トマト等が栽培されていました。土が無くてもプランターを用いてこれ程の栽培をするのは素晴らしい。そして、シイタケの栽培にはもっとびっくり。

【 視察 ② 】



グループホームの家庭菜園圃場。80歳程の方が管理されていますが作物の種類は10種類を超えています。圃場の片隅には自家堆肥作りのコンポストが置いてあり人にも環境にも優しい野菜作りを心掛けている様子。

きゅうり・トマトは黒いマルチビニールを使用して植えて在り、雑草を抑える働きと、きゅうりにとっては根基が乾かない様に。トマトには、余計な水分が入らない様になっていました。マルチに銀色のテープが付いているのは虫除けになっています。

【 視察 ③ 】



津別町の高橋さん宅。玄関前には素敵な花苑。この日に合わせた様に熟した木イチゴを枝から抜き取って食べながら菜園の説明を聞く。種の無い雑草等を堆肥化して畑に混ぜ込んできゅうりやピーマン等をつくっていましたが、自然農法の普及員・杉沢氏の話では堆肥の入れ過ぎを指摘し「来年は雑草堆肥を入れなくても大丈夫」だと言っていました。雑草堆肥だけでも十分なのですね。早生玉ねぎは肥大と葉の倒れ具合が丁度良い生育状態でした。隣の吉川さんが夫婦で合流。

【 視察 ④ 】



津別の自然農法農家。青大豆・カボチャ・スイートコーン・玉ねぎ・そしてひまわり・ジャガイモ等。

大事に使っていた玉ねぎの移植機。交換修理する部品は既に無くなり、来年からは貴重な自然農法玉ねぎの作付けは無くなるそうです。

玉ねぎを背景に記念撮影。一般圃場との境界作物としてのひまわりが満開でした。